

制度の狭間の課題解決プロジェクト

(制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発)

社会的
孤立

生活
困窮者

子ども
の貧困

移動・
買い物

既存の制度だけでは十分な対応が難しい**生活課題・福祉課題**に対する、現場の創意工夫ある取組や先駆的な実践を応援するため、「地域共生社会の実現」の視点も踏まえて、取組モデルの開発や先駆的な実践のノウハウ・スキル等の情報提供、普及展開を行います。

【モデル開発事業】“創り出す”

- 制度の狭間の**ニーズ**に取り組む意向のある会員を募り研究・開発助成を行い、新たな取組を生み出す事業です。
モデル事業の成果・ノウハウは県域にフィードバックしたり、ソーシャルアクションにつなげます。

【リーディングプロジェクト】“広める”

- 県内共通の地域課題の解決に向けて、“オール岡山”により、取組の裾野を広げるための普及啓発プロジェクトを展開します。
「モデル事業」で開発された取組実践も、随時、プロジェクトを組んで、会員の皆さんの協力により県内全体へ広めていきます。

【調査活動とは】“ニーズ・実態把握”

モデルつくる研究・開発

モデル開発

- ・課題別部会での検討
- ・モデル施設、社協等への経費助成
- ・モデル実践の検証

ソーシャルアクション

広めるプロジェクトの展開

リーディングプロジェクト

- ・プロジェクト部会での検討
- ・ノウハウ講座の企画・開催
- ・取組の手引き、事例集づくり
- ・普及啓発フォーラム

…etc

“オール岡山”の実践

オール岡山による社会福祉法人の地域公益活動の推進

社会福祉法人の本旨

制度だけでは十分に対応できない者に対する支援
《今日的な地域福祉課題》

社会福祉法人
制度改革

地域における
公益的取組

地域公益活動(施設・社協)

地域公益活動推進センターの取組テーマ

《制度の狭間の問題とは》

- 地域の移動支援、買物支援の仕組み
- 生活困窮者への相談支援体制
(社会福祉法人による困窮レスキュー事業)
- 緊急一時支援(フードバンク、生活用品)
- 就労準備支援(場の開拓)のあり方モデル
- 中間的就労による受け皿のあり方
- 地域の居場所づくり
- ひきこもり支援の仕組み
- 住まいの確保(一時宿泊、入居支援)の支援の仕組み
- 認知症カフェづくり
(認知症の方・家族の社会参加)
- 子どもの居場所・学習支援の仕組み
- 子ども食堂(地域食堂)
- 児童養護施設退所児童等のアフターケアの仕組み



▼地域における公益的な取組に関するアンケート調査より(H28.12)

地域公益推進会議

(実務者による企画会議)

県内ニーズ分析、アイデアの持ち寄り、 先駆事例の収集・検証



必要な取組テーマを決める

統括・承認

企画提案・報告

センター 運営委員会

▼各種別協議会・社協等

- ・県社会福祉法人経営者協議会
- ・県障害福祉施設等協議会
- ・県保育協議会
- ・県老人福祉施設協議会
- ・県児童養護施設等協議会
- ・県保護施設協議会
- ・県社会福祉協議会
- ・市町村社会福祉協議会 等

各種別協議会、
社協等より実務
担当者選出

(モデル助成:2年間)

モデル事業の研究・開発

課題別部会①
モデル検討A



(例) 移動支援
・買い物支援モデル

課題別部会②
モデル検討B



(例) 就労支援
の受け皿モデル

リーディングプロジェクト

課題別部会③
リーディング検討A



(例) 子ども食堂
への取組促進

課題別部会④
リーディング検討B



(例) 認知症カフェ
への取組促進

市町村域ネットづくり

課題別部会⑤
市町村域ネットワーク



(例) 市町村域ネット
担当者の情報共有

連携

連携